

とりなしの祈り
東日本大震災10年追悼のために

私たちはあなたの御もとへ行きます、神様。
私たちはあなたの御もとへ願いをたずさえて行きます。
あなたは私たちの声を聞くと約束してくださいました。
3月11日で、地震と津波、原発事故が起きた東日本大震災10年目を迎えます。
ドイツに生きる私たちは日本人々との密接な絆を感じています。
キリストにおいて共にある私たちは、魂と霊とをもってあなたに願います。
私たちはあなたを呼び求めます。主よ、憐れんでください！

2011年3月11日の破壊と絶望の映像が、私たちの記憶に未だに焼き付いています。
私たちはあなたの御もとへ日本人々を送り届けます。
亡くなった人々を慰めるために、
家族や親戚を失った人々のために、
全てを失った人々のために、
トラウマに苦しめられている人々のために、
仮設住宅に未だに住み、故郷を永遠に去らねばならなかった人々のために。
福島、宮城、岩手県の人々のために祈ります。
私たちはあなたを呼び求めます。主よ、憐れんでください！

地震と津波の被害を甚大に受けた学校や幼稚園、病院、教会など多くの現地の建物や施設が、
この10年、復興のため国際的な支援を受けてきました。
それは人々に勇気と希望を与え、あなたの働きをもそこに見たのです、神様。
あなたに感謝いたします！
私たちはあなたを呼び求めます。主よ、憐れんでください！

しかし、被災地の苦しみは終わりが見えません。
広大な地域は放射能に汚染され、長期にわたり住むことができなくなりました。
大地は汚染され、社会的な経済基盤は打ちのめされ、生活の基盤は奪い取られました。
原子力発電所の新たな事故への不安は大きいのです。
この10年繰り返し破損した原子力発電所からの冷却水が海へと流されています。
繰り返し地震がこの地域に起こっており、人々は大きな不安を抱えています。
私たちはあなたを呼び求めます。主よ、憐れんでください！

これは自然災害でした。しかし私たちはおそるべき結果には無責任ではないのです。
私たちは求めます。
この受難節の時、私たちが度を越した贅沢な生活によって
自然や環境を搾取しているという認識へと導いて下さい。
他の弱い立場の人々の上に私たちは生活しているのです。
資源を取り巻く、責任を強く自覚した持続的な生活の中に、
私たちがどのように満足を見いだせるかをお示してください。

私たちはそのために任命され責任を持って参与するの人々のために祈ります。
彼らが街中で、議会において、公共の場で、声をあげ注意を促すことを
やめることはありませんように。

今私たちの場で、とりわけ日本で。
私たちはあなたを呼び求めます。主よ、憐れんでください！

世界規模で原子力エネルギーの完全な撤廃が必要です。
私たちは政治と社会における責任を負う人々のため祈ります。彼らが正しい決断をし、経済成長の圧力、経済的成果や企業の利潤追求の圧力に屈服することがありませんように。
私たちはあなたを呼び求めます。主よ、憐れんでください！

憐れみ深い天にまします父よ、私たちの祈りをあなたの御もとへ届かせてください！
私たちの魂は不安を感じています。私たちにはあなたの憐れみが必要なのです。
もし何も証しを見ることがなくとも、私たちが苦難の時もあなたが共にいてくださるということ信じられますように。
あなたは私たちの救い主なのです。
十字架と復活のキリストの御名によってお祈りします。
アーメン。

ベルリン宣教局 東アジア宣教協議会
2021年3月1日